

〔春日井市〕 MaaSアプリを活用した公共交通利用促進と交通行動変容の働きかけ

課題認識

公共交通の利便性を確保し続けるためには、市民の皆さまが現在の公共交通の状況を認知し、関心を持ち、実際に利用しやすい仕組みと、継続して公共交通を利用し続ける仕組みを、同時に確立することが重要。

事業内容



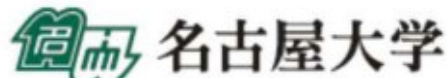
- ①デジタルチケットの販売、インセンティブ付与
 - ・サービス利用促進
 - ・バス運転手、販売窓口等の負担軽減
- ②AIオンデマンドシステム連携
 - ・サービス利用促進、WEB予約・乗合誘導
 - ・オペレーターへの負担軽減
- ③①、②を踏まえた社会的コストの削減、
コミュニケーションを中心とした働きかけ

公共交通利便性の継続的な確保

目指す方向性

- 利用者 (市民)**
- ・DX による負担軽減
(デジタルチケット、WEB 予約)
 - ・利用者増によるサービスレベル維持

体制



MaaS アプリの乗車券 DX やオンデマンドシステム連携による『3 方よし』の好循環サイクル

- 交通事業者**
- ・利用者増による収入増加
 - ・運転手、オペレーターの負担軽減
 - ・乗車券販売窓口の負担軽減

- 行政**
- ・利用者増による収入増加
 - ・紙チケット減による労務・コスト削減
 - ・人件費、社会保障費等の削減